

平成 30 年度 横浜の遺跡展

横浜のお台場

ー発掘に見るコウモリ台場とその時代

展示では、近年の発掘調査によってわかってきた台場の構造や、台場築造の時代背景となる開港前後の横浜をめぐる情勢について、遺物による展示を行います。

1. 展示概要

- 【会 期】平成 30 年 11 月 20 日（火）～12 月 16 日（日）
【会 場】横浜市中心図書館 1 階展示スペース
【開館時間】火曜日～金曜日：午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分
土曜日～月曜日・祝（休）日：午前 9 時 30 分～午後 5 時
【観 覧 料】無料
【主 催】公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
横浜市中心図書館
【協 賛】公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協議会



台場は、幕末期に江戸幕府が来航する外国船に対する防衛・監視手段として日本各地に築いた海防砲台であり、横浜市域には神奈川区の沿岸部に、「神奈川台場」が造られました。

神奈川台場は勝海舟によって設計され、松山藩による約 1 年の築造工事を経て万延元（1860）年に完成しました。

神奈川台場の砲台は、専ら外交儀礼のための祝砲や礼砲の発射に用いられ、明治 32（1899）年に、外国人居留地が撤廃されると神奈川台場は廃止されました。

その後次第に埋め立てが進み、現在ではその大部分が JR 貨物東高島駅の敷地となっています。

（写真）神奈川台場発掘現場で、部分的に露出している石垣の記録をとる調査研究員（平成 23 年）



神奈川台場二次調査（平成 23 年 8 月 22 日～9 月 5 日）で、石垣部の調査、記録作業を行っていた際に出土した遺物。

写真左上は硯、右上は砥石、中央は鏝（かすがい）、下は皆折釘（かいおれくぎ）。いずれも、石垣裏込め内より出土しました。表面の石垣を安定させるために、裏込めと呼ばれる石垣の背面構造は重要であり、約 1 年という短い築造期間でありながら、丁寧に造られた裏込めなどからも、神奈川台場が強固に造られたことがわかります。

当時の職人による、熟練した築造技術を感じることもできる遺物です。

展示会場では、神奈川台場周辺の見どころを案内した台場散策マップを配布します！お持ち帰りいただき、神奈川台場の史跡めぐりに活用ください。

ルートガイド付き。ポイントの写真を参考に、現地を確認できます。



持ち運びしやすい大きさに折りたたんでください。

両端をひっぱると神奈川台場ウォーキングマップに！



※会場では折り畳んでいない状態で置いてありますが、シートに折り目のガイドがついていますので、参考にして折りたたんでください。会場には見本も置いてあります。

〈関連行事〉

第 8 回ヨコハマライブラリースクール(「横浜の遺跡展」関連講演会) 「解き明かせ！横浜のお台場—発掘に見るコウモリ台場とその時代」



2. 関連講演会(「ヨコハマライブラリースクール」第 8 回)概要

【日 時】平成 30 年 12 月 9 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 4 時(開場 午後 1 時)

【会 場】横浜市中心図書館 地下 1 階ホール

【講 演 者】吉崎雅規(横浜開港資料館)

浪形早季子((公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター)

【費 用】無料

【定 員】120 名(申込先着順)

【申 込 先】横浜市中心図書館

【申込方法】11 月 13 日(火) 9 時 30 分から受付開始

1. 電話(045-262-7336)

2. 横浜市中心図書館 3 階カウンター

3. インターネット用申込フォーム

(申込フォームの URL は、11 月 13 日(火) 9 時 30 分以降に「ヨコハマライブラリースクール 第 8 回 解き明かせ！横浜のお台場—発掘にみるコウモリ台場とその時代」のページに掲載します)

※手話通訳等をご希望の方は、開催日の 9 日前までにご相談ください。

※申込時にご記入いただいた個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、申込受付及び講座の中止等、連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

【主 催】横浜市中心図書館

【共 催】(公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

お 問 い 合 わ せ 先

◇展示・講座内容に関するもの

(公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

浪形 早季子(展示担当)・木許 文子(広報)

Tel.045-890-1155、Fax. 045-891-1551

◇ヨコハマライブラリースクールに関するもの

教育委員会事務局中央図書館調査資料課長

池谷 充隆

Tel. 045-262-7343